

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・ 今月後半は例年と比較して20%上昇しており、3月以降も観光客の増加が期待でき、新商品開発も進めていることから、前年同月よりも10～20%の売上増加が見込める。ただし、当社の客の80%は県外からの客であるため、大型免税店の新規出店による影響が、マイナス要素として若干気になる。
	やや良くなる	観光型ホテル（商品企画担当）	・ 現在よりも上向きとなることが見込める。ただし、前年の同時期に比べ、雑誌媒体の取扱をみると、昨年はほとんどなかったハワイの特集が目立っており、中部国際空港ができたことで、海外旅行の利便性に関する広告も増えるなど、全体的に沖縄観光が弱くなっている感が不安要因としてある。
		観光型ホテル（営業担当）	・ 修学旅行の予約が順調に入っており、その他の予約も良い状況である。IDB総会関連の予約は必ずしも多くはないが、今後の増加に期待している。
	変わらない	スーパー（経営者）	・ 来客数は増加しているが、単価は相変わらず低下傾向にある。客はチラシをみて特売商品によって店舗を使い分けているようで、今後もこのような状況は続く。
		コンビニ（経営者）	・ 車社会の本県では、ガソリン価格は庶民の懐に密接に関係することから、ガソリン価格が現状維持か、もしくは少々下がっていることから、少し良くなる。
		コンビニ（経営者）	・ 無駄買いする人が少なく、財布のひもが固い状況は変わらず続く。
		コンビニ（エリア担当）	・ 大きな増加を生む要因はないが、沖縄ブームがブームを超えて定番化しているため、観光客は好調に推移し、それにより雇用、購買が安定する。
		コンビニ（エリア担当）	・ 2月は長雨、低気温と天候条件が非常に悪かったが、何とか例年値はクリアしている。天候次第だが、県全体の景気のやや良い状態は、今後2か月から3か月は続く。
		衣料品専門店（経営者）	・ 購買傾向が年代層によって違っており、10代から20代前半の若い年代層においてはあまり良くないが、20代半ばからそれ以上の年代層は変わらず推移しており、総合的には変わらない。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・ 一般的に消費が増える時期のため期待したいが、競合他社の増加や価格競争で前年維持も厳しい。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・ ビジネス関係や家計に関する出版物の内容をみると、相変わらず、先行き不安をあおる内容が多い。悪くはならないと思うが良くもならない。
		高級レストラン（副支配人）	・ 来客数も変わらず少なく、客単価も下落しているため、今後も現状と変わらない。客も少ない予算で来られているようで、客単価が大幅に落ちている。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・ 例年並みとなる見込みだが、春休みについては予測できる状況ではない。また、4月、5月の動きについても不透明な部分が多い。
	観光名所（職員）	・ 3月には愛・地球博が開催されることから、沖縄への入域客の増加は危ぶまれ、現状維持となる。	
住宅販売会社（従業員）	・ 今期末見込みの注文住宅受注は棟数ベースで20%下落している。利益率も下がっており、建築鋼材の値上がりもあって厳しい状況が続いている。これまで、現場内の努力もあり価格据置きで頑張ってきたが、次年度から販売価格の値上げも含め検討する段階にある。		
やや悪くなる	百貨店（担当者）	・ 春物衣料の入荷が少なく、全体的に厳しい状況にある。2～3月は気温変動が激しいことから、この状況が続けば消費を喚起、けん引する要素は見当たらず、苦戦状況が継続する。	
	家電量販店（従業員）	・ 新年度に向け、学生や新入社員の移動に伴う販売増が見込まれるが、競合他社とのし烈な値引き合戦も予想され、売れても利益は薄いことが予想される。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・ 地元の失業者は多いようだが、募集を行っても応募はなかなかなく、絶対的な従業員不足が続いている。来客数のピーク時におけるサービスの低下を招かないため、席は空いていても客を通すことができず、売上を伸ばせずにいる。そのため現在、県外からの採用を検討している。	
	ゴルフ場（経営者）	・ 例年どおりでやっていくと状況は厳しく、営業努力の必要がある。	

		住宅販売会社（経営者）	・同業者の建築土木会社の資金繰りが厳しく、倒産が相次いでいる。
	悪くなる	-	-
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（総務担当）	・新年度から取引先が増える予定である。ただし、物流コストを抑えるためのアウトソーシング受注のため、利益が薄利になる分は自助努力で効率を考えた運営管理を徹底し、利益を確保できる環境をつくる必要がある。
	変わらない	輸送業（営業担当）	・大きなイベントに伴う荷動きが幾らか期待できるが、大きくは変わらない。
		通信業（従業員）	・客がどのような要件でどのようなサービスを必要としているか、コンサルに近い部分から入り込み、本当に必要としているサービスをきちんと整理して、十分なサービスを提供していくことで新たなニーズが発掘できると考える。新たなニーズの商品化と、従来のサービスの低価格化とのバランスをとることで当面は現状を維持するが、その後はやや良くなる。
		通信業（営業担当）	・新規案件に依存しており、大型案件の注文を逃せば景況はやや悪くなるが、現状では不透明のため変わらない。
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・引き合いはあるが、競争相手も多いので、販売価格の上昇は見込めない。
不動産業（従業員）		・客の動きはやや鈍るが、新築アパート等への動きは現在とあまり変わらない。	
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・これから求人数の増えてくる繁忙期になり、それに加え各地で官、民企業それぞれで合同企業説明会が開催されるなど、新、旧企業の応募件数も増えてくる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今後について、期待感のある話や、あるいは逆にマイナスイメージの話もさほど出ていないことから、この状態が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求職申込件数及び月間求職者数は、前年同月比で新規4.6%、月間有効求人11.2%と増加しており、13か月連続で上昇している。また、求職者が滞留しており、いったん離職すると再就職が厳しい状況が続いており、特に主婦層を中心としたパート求職、雇用保険受給者、在職者、自己都合離職者等の求職者が増加している。新規求人数は前年同月比で41.4%増加しており、12か月連続で増加傾向にある。今後も求職、求人ともに増加傾向で推移すると考えられるが、求人、求職者間のミスマッチから、雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。
	やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・県内建設業の倒産が中小企業で多発しており、また、4月1日からのペイオフが解禁されることから、金融機関を中心にやや不安感が出ると予想され、景気は悪化し、雇用状況にも影響が出る。
	悪くなる	-	-